

＜令和6年度 第10回 前林地域会議 会議録＞

日 時 令和7年1月17日（金） 19:00～20:45
場 所 前林交流館 多目的ホール
出席者 委 員 18名
事 務 局 吉澤支所長、中野副支所長、松原副主幹、天野担当長
オブザーバー 石川市議、佐野前林交流館長

1 会長あいさつ（省略）

2 報告事項

- （1）第9回前林地域会議 会議録について
- ・内容の確認

3 協議事項

（1）令和7年度に実施する交通安全・防災対策事業に対する協議

12月度会議で行ったグループワークで出された交通安全・防災対策事業のアイデア案に対する事務局で検討した具体案について、3つのグループに分かれて協議。

①交通安全事業

【Aグループ】

【交通安全情報発信の強化】

- ・交通安全事故マップ（通学団別）、危険箇所マップの活用方法を生かした活動にして、マップを全戸配布する。（皆がこの場所が危険場所と分かるように進めていくとよい）
- ・ヘルメット購入費の全額補助は年齢を問わず実施してほしい。

【交通安全啓発イベントの実施】

- ・高齢者に対してシニアカーの体験会を実施してほしい。（免許返納した際にシニアカーに乗って移動できると思えるように）

【危険な場所等の解消に向けた取組】

- ・安全のみどり線は、令和5年度調査済で令和7年度に実施する。また、追加で危険箇所エリアに赤色塗装や凸路面設置してはどうか。
- ・通学路の草刈りは市で行うべきである。

【Bグループ】

- ・具体案はわかりやすい表現にした方がよい。

【交通安全情報発信の強化】

- ・危険箇所マップを作ることによって終わりにっていないか。実際に活用されているのか。小学校に児童が通っていないと見る機会がないため、広く配布されるとよい。
- ・また、危険箇所マップは、どのように活用するのか、その方法を検討することが

大事ではないか。

- ・危険箇所マップ作成後に、「この場所が危険箇所なので対策してほしい」と学校（交推協）や自治区から単独で依頼しても、中々声が届かないため、学校と自治区が連携して、連名で市や警察等に要望していく必要があるのではないか。

【危険な場所等の解消に向けた取組】

- ・草刈は定期的に早く実施し、その後、土砂等を撤去して草が生えないようにする予防も必要ではないか。スピーディーに行った方が無駄がないように思う。
- ・現状は、結果的に自治区役員がやらざるを得ない。自治区役員の高齢化もあり、別の方法で予算化できないかと思う。
- ・情報が下りていないため、ひまわりネットワークの番組で情報宣伝できないか。

【Cグループ】

【交通安全情報発信の強化】

- ・自転車の法律が改正されたが、知られていないと思うため、自転車の新しいレールのチラシを全世帯に配布する。

【交通安全立哨・見守り活動等の強化・促進】

- ・堤小学校で児童の登下校の見える化を行う予定なら、全てで行ってはどうか。現在、iPhoneで追跡できるエアタグがあるため、小学校入学時に全員に配布してはどうか。（その後は各家庭で見られることが可能で防犯ベルより良いのでは）
- ・小学校と話をした際、「見守り隊の方が児童を学校まで送ってくれているが、小学校として、その後に少し残っていてほしい」とのことだった。理由として、小学生が見守り隊の方に何か聞けることがあるのではないかとのことだった。例えば、学校で育てている野菜の作り方や昔の地域のことなど、聞きたい時に見守り隊の方がいてもらえると良いのではないか。見守り隊の発展形である。（お茶を飲みながら1時間程度）
- ・「飛び出し君」が古くなっているため、新しいものに交換したい。また、通学路の安全のみどり線が消えているため早く塗り直したい。

【危険な場所等の解消に向けた取組】

- ・草刈り機の刃は飛び石があるため、飛び石の少ない刃に代えてはどうか。
- ・曇って見えないカーブミラーは早く見えるようにしたい。（早期の工事申請対応）

②防災対策事業

【Aグループ】

【自治区防災活動の充実】

- ・災害時に支援してくれる人の名簿を作成してはどうか。自治区内に在住する医師・看護師・保健師を登録しておき、災害時にすぐに連絡して介護等ができるように名簿が作成されているとよい。
- ・災害時に交流館が対策本部になると聞いているが、交流館と各自治区間の伝達方

法（例：届いた毛布の必要数の自治区への確認や食料の必要数の交流館への伝え方等）が良く分からないため、検討して決めてほしい。

【地域企業との連携による防災訓練等の実施と自主避難場所の追加】

- ・地域企業と防災訓練をした方がよいと思う。

【防災備蓄の充実、救急救命機器の周知強化】

- ・地域イベントでの防災備品の配布は、文化祭などで行う方法が、人が集まり、話ができ、伝わるため、実施した方がよいと思う。

【Bグループ】

【自治区防災活動の充実】

- ・自治区の防災訓練に、新しい人、若い人たち（中学生）をどのように巻き込むのか。そもそも若い人に声掛けができていないのではないか。
- ・訓練内容が風化・マンネリ化していないか。
- ・訓練に参加する人が消防団も含め、減少しており、最終的に中学生を巻き込むことを考えた時、もう少し広い範囲（中学校区）で訓練を充実させ、子どもを巻き込み、消防団にも感謝する場面を増やすことが重要ではないか。
- ・個人の避難行動は、最終的に近しい人、組単位で声掛けして把握するしかないと思う。避難場所も、決められた場所だと逆に危険なこともあるため、自分たちで決めて具体的にどのように動くか考えて行動すべきと思う。

【地域企業との連携による防災訓練等の実施と自主避難場所の追加】

- ・地域企業の寮の中には受け入れがある所もあると聞いている。具体的に話を持っていかないとこれより前に進まないのではないか。地域から企業に声をかければ企業も対応してくれると思う。

【Cグループ】

【自治区防災活動の充実】

- ・講座修了者の誰が資格を持っているか分からないため、資格者リストを作成して災害時にその方に連絡できる体制にしておくとういのではないか。
- ・消防団との合同訓練を行って、消防活動に参加してもらうとその内容が分かり、消防団の参加にもつながるのではないか。
- ・防災物品の支給の取組で、防災等のDVD貸し出しではなく、QRコードからスマホ等で動画を閲覧できるようにしてはどうか。また、防災ハンドブックも、紙ベースで配布するのではなく、同様にQRコードからスマホ等で閲覧できるようにしてはどうか。
- ・防災イベント等の中で、防災用品等を展示販売してはどうか。

【地域企業との連携による防災訓練等の実施と自主避難所の追加】

- ・具体的にどのように地域企業と連携しているのか分かるようにしてはどうか。
- ・防災訓練時に企業に協力してもらい、防災食などを提供してもらい、防災訓練時に

防災食や保存水を実食してはどうか。

- ・企業に協力してもらい、学校の給食の中で体験してもらってはどうか。
- ・地域のふれあい広場や区民会館等に防災トイレ（災害用便槽）を設置してはどうか。

4 その他

- ・令和6年度前林地域会議について
2月度の前林地域会議について事務局より説明。
- ・次回開催について
令和7年3月21日（金）午後7時から前林交流館